

ナバリスト 29

中村 美南 さん

地域おこし協力隊（地域観光プロデューサー）

なかむら みなみ ●奈良市出身。コロナ禍で旅行業界への就職を断念し、東京で半導体メーカーの営業職に。昨年4月に名張へ移住。地域おこし協力隊員として観光振興に携わり、SNSでの情報発信をはじめ、土産物やふるさと納税返礼品の企画・開発、土産販売店（mizuoto）の設立・運営支援など、積極的な活動を繰り広げている。

人と人、人とまちの
架け橋になりたい



学生時代は7カ月ほど、インドや東南アジアをバックパッカーとして旅行し、交流を楽しんだ



まずは、名張の魅力を知るところから！新鮮な視点で名張をPR



土産販売店「mizuoto」など、新たな魅力発信の取組にも挑戦

旅するように暮らすまち

東京で営業職に就きましたが、都会の喧騒に馴染めず「これは誰の人生だろう」と悩む日々でした。そんな時、長期休暇をとって国内外へゆつくり旅行へ。「自然のある場所で働きたい」という思いが次第に強くなっていきました。

例えば高校時代は、理科を中心としたカリキュラムを専攻し、学校の裏山でカエルの子を実際に触って生態を学んだり、部活でランの植生を研究したり。自然の中にいる時間が大好きでした。大学時代には、留学生の生活をサポートしたり、バックパッカーとして世界を旅したりと、海外への好奇心も旺盛でした。

そんな私にとって、名張市の「地域おこし協力隊（地域観光プロデューサー）」の活動はまさにうってつけ。「観光分野で自分のやりたいことを試してみたい」と、昨年5月に着任しました。まずは名張の魅力を知ろうと、まちじゅうに積極的に足を運び、多くの人と出会いました。驚いたのは、赤目滝水族館の館長をはじめ、カフェやお菓子屋さんなど、名張のいろんなところで若い人が活躍していること。「若くても前に出たいんだ」と背中を押され、私もみんなと一緒にいろいろな挑戦を始めています。

旅は自分を前向きにし、人生を見つめ直す機会になります。名張を訪れる多くの人にも、そんな旅の魅力を味わってほしいですね。私自身、休日には赤目四十八滝や青蓮寺湖畔のカフェで、ゆったりと季節を感じたり、静かに物思いにふけったり——その瞬間が自分を元気にしてくれます。名張の皆さんの温かさにも包まれ、まさに「旅するように暮らすまち」を満喫中です。

編集後記

市のPR動画「旅するように暮らすまち名張」を公開。日々の暮らしの中に自然や人とのつながりが息づいている——それが名張の魅力なんだと、移住者の視点から伝えていきます（たか）

「Nabari nk」で、一蘭のラーメン調理体験を開催予定！ラーメン大好き人間なのですが、30歳未満対象なので私は行けず（泣）今後も、楽しい催しを計画しているのでぜひ来てね（くま）

オオサンショウウオをモチーフにしたキャラクター「ミヨゴン」「ももちい」を紹介。どちらかわいくてお気に入りです。更に魅力的にするためのアンケートにぜひご協力を（はな）

夏は祭り・イベントの季節ですね。恥ずかしながら名張にも、こんなにたくさんイベントがあるとは知りませんでした。暑い日が続きますが、ぜひ足を運んで欲しいです（おふじ）



名張のひと・活動

令和8年8月10日発行

広報なばり

●人口 72,543（前月比－76人） ●世帯数 34,923世帯（前月比－26世帯）※7/1現在

発行／名張市 なばりの未来創造部 広報シティプロモーション推進室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1

☎ 0595-63-7402 FAX 0595-63-2560 ✉ pr@city.nabari.lg.jp



市HP